

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価

平成27年8月3日

計画の名称	2 函館港における港湾利用の効率性・安全性の向上		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	函館市
計画の目標			

老朽化した施設の機能維持・延命を目的とした改良を行い、港湾利用の効率性・安全性の向上を図る

計画の成果目標（定量的指標）

函館港港湾施設の老朽化対策の改良率の向上

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

改良を必要とする延長の内、改良済みの延長の率を算出する（係留施設）
 （老朽化係留施設の改良率）＝（改良済延長）／（改良を必要とする延長）
 改良を必要とする延長の内、改良済みの延長の率を算出する（道路）
 （老朽化道路の改良率）＝（改良済延長）／（改良を必要とする延長）
 計画策定を必要とする施設の内、計画策定済の施設の率を算出する（計画）
 （計画策定率）＝（計画策定済施設数）／（計画策定を必要とする施設数）

当初現況値 (H22年度当初)	中間目標値 (H24年度末)	最終目標値 (H26年度末)
0%	34%	100%
0%	100%	100%
0%	—	100%

全体事業費	合計 (A+B+C)	248百万円	A	248百万円	B	— 百万円	C	— 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	— %
-------	---------------	--------	---	--------	---	-------	---	-------	---------------------------	-----

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

事業終了後、平成27年8月

公表の方法

函館市港湾空港部ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 港湾事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
2-A1-1	港湾	北海道	函館市	直接	—	重要	改良	豊川地区岸壁(-5.0m)改良	L=200m(防食工、舗装工、上部工、附属工)	函館港・豊川地区						130	統合新①
2-A1-2	港湾	北海道	函館市	直接	—	重要	改良	海岸町地区物揚場(-4.0m)改良	L=105m(防食工)	函館港・海岸町地区						8	統合継②
2-A1-3	港湾	北海道	函館市	直接	—	重要	改良	中央ふ頭地区道路改良	L=213m(橋梁)(塗装、付属物取替ほか)	函館港・中央ふ頭地区						101	統合継②
新規	港湾	北海道	函館市	直接	—	重要	長寿命化計画	港湾施設長寿命化計画策定	維持管理計画策定(橋梁3基)	函館港・大町地区、中央ふ頭地区、海岸町地区						9	
合計																248	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																0	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計														0		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

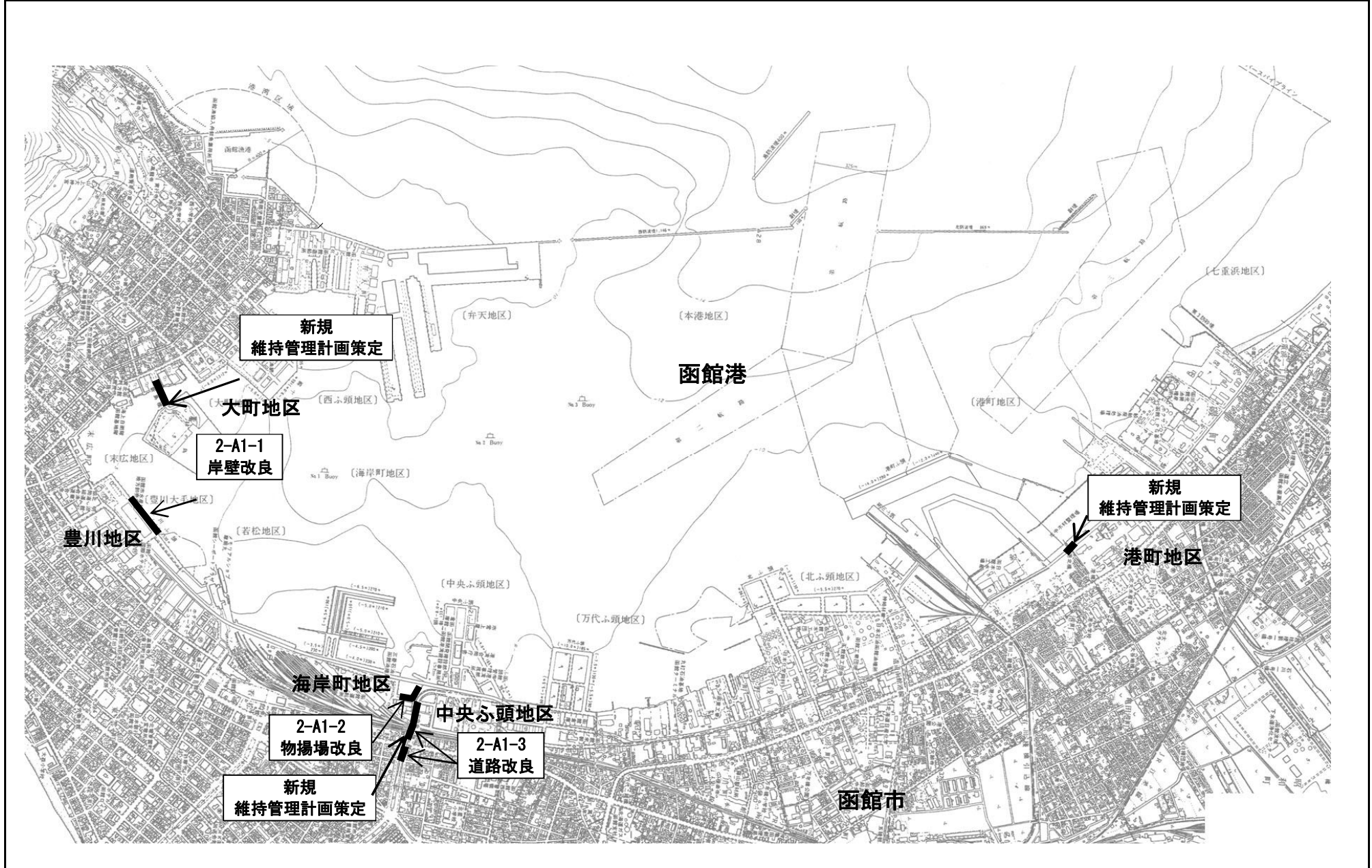
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 豊川地区岸壁および海岸町地区物揚場に防食工を施したことによって、豊川地区岸壁および海岸町地区物揚場の延命化が図られた。 中央ふ頭地区道路（橋梁）の橋桁塗装および付属物の取換を行った結果、より安全で円滑な港湾車両の通行が実現された。 橋梁3基の維持管理計画を策定することができた。今後、策定した維持管理計画に則り、計画的な維持管理と施設の延命化が図られる。 														
II 定量的指標の達成状況	指標①（改良を必要とする延長の内、改良済みの延長の率（係留施設））	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	他の緊急度が高い事業の整備を進めたため。											
		最終実績値	75%													
	指標②（改良を必要とする延長の内、改良済みの延長の率（道路））	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	J R北海道に委託したJ R敷地内の道路（橋梁）補修工事において、北海道新幹線等による大規模事業の影響により工事を実施できなかったため。											
		最終実績値	73%													
	指標③（計画策定を必要とする施設の内、計画策定済の施設の率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	なし。											
		最終実績値	100%													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		なし。														

3. 特記事項（今後の方針等）

最終実績値が100%とならなかった交付対象事業について、引き続き事業を実施していく。

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

計画の名称	2 函館港における港湾利用の効率性・安全性の向上		交付対象	函館市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 函館港における港湾利用の効率性・安全性の向上

事業主体名: 函館市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○